

丸亀 まるっと enjoyable



丸亀観光ガイド



丸亀市

×

立命館大学
食マネジメント学部

丸亀観光 MAP



1 本島 ... P2

2 石川うどん ... P3

3 まごころ ... P3

4 御菓子処 乃だや ... P4

5 洋菓子の店 フランセ ... P4

6 丸亀市立資料館 ... P5

7 中津万象園 ... P5

8 御菓子司 寶月堂 ... P6

9 京極庵 ... P6

10 丸亀城 ... P7,8

★ 城泊メニュー / 地元のお店・人物紹介 ... P9,10

11 MIMOKA
猪熊弦一郎現代美術館



12 うちの港ミュージアム
※2022年度中に移転予定

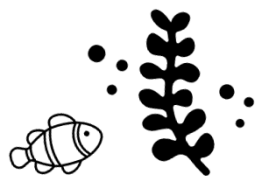


出典：『丸亀うちわ』公式ホームページ
<https://marukameuchiwa.jp>

13 OIKAZE ... P10
(地域産品を扱うセレクトショップ)



本島



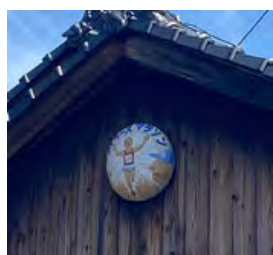
本島は、瀬戸内海の塩飽諸島の中心で、最も人口が多い約280人の島です。丸亀港からフェリーで35分のところに位置しています。自然豊かで、歴史的なまち並みが大変魅力的です。



本島町笠島は、国の重要伝統的建造物群保存地区になっており、笠島まち並保存センターやマッコヨ通りがあります。塩飽勤番所跡では朱印状や咸臨丸の模型などが展示されています。その他にも木鳥神社や千歳座など歴史的なまち並みが素敵です。



島の活性化のために...



本島では3年に1度、瀬戸内国際芸術祭が開催されます。これは瀬戸内海の12の島と2つの港が舞台であり、現代美術を取り入れながら瀬戸内、まちの良さを発信しています。

島を歩いていると、あらゆるところでアートを見つけることができ、とても遊び心を感じることができます。



島では、香川の特産品である香川本鷹が育てられていたり、オシャレなカフェ「本島スタンド」があったりと、食の魅力もいっぱいです！





丸亀といえば...！ おすすめうどん特集

1. 石川うどん



いりこがメインの出汁と風味の良い小麦「さぬきの夢2009」を使用したうどんが絶品のお店。トッピングのちくわの天ぷらは2種類あり、店主の「香川名物の観音寺ちくわと冷凍ちくわを食べ比べてもらいたい」という想いから生まれたそうです。

さらに、うどん屋でありながらプリンも販売しています。高知県の放し飼いをを行う牧場で育った牛からとれる消化吸収が緩やかなノンホモジナイズ牛乳が使用されており、カラメルソースではなく味醂をかけて食べる珍しい商品です。



石川うどんは他社との差別化ではなく、店主自らが美味しいと思うものをお客様に出すことを最優先としています。その分、商品に用いる素材についてこだわりが強く、価格は高くなってしまいうけれど化学調味料不使用のものを取り入れることで人々により健康なものを提供できるように心がけています。



2. まごころ

まごころは、JR丸亀駅から徒歩約20分の所にあるセルフうどんのお店。朝6時から営業しており、食事時には多くのお客さんでお店が賑わっています。うどんはコシのあるツルっとした麺が特徴で、トッピングに用意された種類豊富な天ぷらも揚げたてサクサクで絶品です。



「石川うどん」

住所: 福島町54-8
電話番号: 0877-21-7767
営業時間: 11:00～15:00
定休日: 火曜日

「まごころ」

住所: 蓬萊町55-3
電話番号: 0877-24-3330
営業時間: 6:00～15:30
定休日: なし

時代に合わせて 地元の人に受け入れられる お菓子を提供！



1. 御菓子処 乃だや

和菓子と洋菓子の両方を販売する、2022年で創業55周年を迎える老舗の菓子店。元は和菓子のみを販売していましたが、現在店主を務める二代目が、和菓子のみならず洋菓子の修行も行っていたことをきっかけに35年ほど前から洋菓子の販売を開始しました。



乃だやの人気商品は「フルーツ大福」や「丸亀サブレ」などといった和洋折衷の菓子です。これらは「暖簾に胡座をかいて銘菓だけを売るのではなく、時代とともに変化する人々の嗜好に寄り添いたい」という店主の強い思いによって生み出されたオリジナル商品です。

さらに、地元の名物である丸亀城をコンセプトにした「丸亀お城めぐり」という当店オリジナルの商品も販売しており、観光土産にぴったりです！



「洋菓子の店 フランセ」は、昔から地元住民に支持される町のケーキ屋さん。「普段使いの店」をコンセプトにフレンドリーな接客を心掛け、お客さんとの関係性を大切にしているそうです。



2. 洋菓子の店 フランセ

フランセの売りの一つはロールケーキ。定番商品の「豊潤ロールケーキ」の他にも、旬のフルーツを使用した季節のロールケーキも販売しています。さらにもう一つの売りは、注文を受けてからカスタードクリームを詰めてくれる「クレーム・コルネ」。土日祝日限定で、カスタードクリームに代わって粒あんカスタードクリームの入った「クレーム・アンコルネ」も販売されています。



「御菓子処 乃だや」

住所：山北町446-4
電話番号：0877-22-6562
営業時間：8:00～19:00
定休日：火曜日

「洋菓子の店 フランセ」

住所：土器町西5-88
電話番号：0877-23-2721
営業時間：10:00～19:00
定休日：水曜日

丸亀市立資料館

丸亀市立資料館では、丸亀城と城下町の変遷や歴代藩主、主に生駒・山崎・京極氏に関する絵図、古文書、調度品などを中心に近世の丸亀について知ることができます。



ここに注目！ニッカリ青江

ニッカリ青江とは、南北朝時代に岡山県倉敷市で作られ、江戸時代に丸亀を治めた京極家に伝わった刀です。戦国大名の柴田勝家や豊臣秀吉にも伝わったとされている名刀で、国の重要文化財として認定されています。

日本の名刀を擬人化したゲームでニッカリ青江が取り入れられ人気になり、ニッカリ青江を資料館で公開すると、女性を中心に大勢の来館者が集まります。

丸亀市立資料館
住所：一番丁(城内)
電話番号：0877-22-5366
開館時間：9:00～16:30
定休日：月曜日、祝日、年末年始、
資料整理期間

中津万象園

中津万象園は、丸亀藩主・京極高豊侯によって築庭された日本式庭園です。

この庭園は丸亀市の指定文化財に登録されています。園内には、丸亀美術館や懐風亭が併設されています。



懐風亭

～食べて高瀬茶を堪能 茶茶御膳～

中津万象園の庭園を眺めながらお食事をお楽しみいただけます。懐風亭は2003年に万象園の観光客をターゲットにオープンしました。メニューに有ります茶茶御膳は、歴代の丸亀藩主が嗜んだ高瀬のお茶を料理に取り入れたもので、『お茶を食す』というコンセプトのもとで創られました。

その他、和食のお料理を提供しております。

中津万象園
住所：中津町25-1
電話番号：0877-23-6326
営業時間：9:30～17:00
定休日：水曜日

懐風亭
住所：中津町25-1
電話番号：0877-23-2266
営業時間：11:00～14:30
17:00～21:30
定休日：水曜日

御菓子司 寶月堂

寶月堂は、創業100年を超える老舗の和菓子店です。生菓子・干菓子の販売のほか、季節のドリンクや夏にはかき氷を販売するなど、美味しくて見た目がきれいなお菓子がたくさん販売されており、非常に魅力的です。また、和菓子教室も実施されており、和菓子作りを体験できます。

季節に合わせた、上生菓子や、夏には丸亀名物「おいり」がのったかき氷を頂くことができます。

御菓子司 寶月堂
住所:米屋町16
電話番号:0877-23-0300
営業時間:9:00~17:00
定休日:元日

夏限定
インスタ映える
かき氷



京極庵

京極庵は、京極家付きの商家・前谷家のお屋敷として1886年に建てられました。

敷地内では、京極家の資料や丸亀にゆかりのある日本画家の作品が数多く揃えられています。特に、丸亀市出身の女性日本画家山下紅畝の繊細な作品は見ごたえがあります。

住宅の中にたたずむ京極庵。一步入ると歴史を感じることができる場所です。非日常を楽しんでみてはいかがでしょうか？

～風情ある中での茶道体験～

京極庵では、地元の方向けの茶道教室や観光客向けの茶道体験を実施しています。茶道体験は、初心者でも楽しめるよう優しくレクチャーしてくれるので安心。京極庵の風情ある雰囲気の中での茶道は非常におススメです。

京極庵
住所:西平山町194
電話番号:0877-24-5288
開館時間:9:30~16:00
定休日:日・月・曜日、祝日

丸亀城

現存12天守の1つで石垣の名城とも呼ばれる丸亀城。

石垣の名城と呼ばれる通り、小さな天守ながら日本一の石垣の高さを誇ります。

周りにビルも少なく360度から楽しめる丸亀城はまちのシンボリック存在です。



現存天守とは、日本の城の天守の中で江戸時代以前に建てられ、現在までそのまま残っている天守のことです。全国に12か所しかなく、歴史的にも貴重なお城です。

江戸時代から続く歴史



丸亀城は1597年に、生駒親正・一正による亀山への築城に始まります。一度は、一国一城令により廃城となりましたが、1645年に山崎氏によって再築。1660年、京極氏が藩主の際に天守が完成しました。天守が完成してから、360年以上たった丸亀城は、地元の人からも愛される場所になっています。

次のページでは、そんな丸亀城に行った際の注目スポットを紹介します！

人力車芸人がお出迎え！

丸亀城人力車芸人 大木亀丸さん

よしもと芸人の巧みな話術と知識で楽しみながら丸亀城をまわることができます。どんなトークやギャグが繰り出されるのか、人力車に乗ってからの楽しみです！

丸亀城で待ってます



丸亀城のココ見て！



大手門

1670年からそのまま残っている大手門。なんと門の中を見学することができます！門の中には太鼓があり、城下に時間を知らせる役割も担っていました（現在も毎日正午になると太鼓の音が聞こえます）。石落としなど敵の防御の役割も担っていましたが実戦はなく、使われることはなかったそうです。

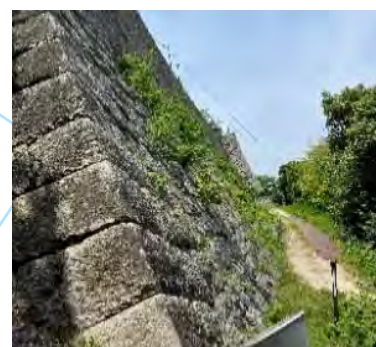


見返り坂

時々立ち止まって振り返りたくなるという名の由来の通り急な坂道です。

石垣

圧巻の石垣が目に飛び込んできます。機械もない時代にこのきれいな曲線を描く技術に感動です。



歴史や魅力がたくさん



マスコットキャラクター
京極くん

二の丸広場

讃岐富士（飯野山）や、瀬戸内海、金比羅山など一望できるスポットになっています。



延寿閣別館の城泊



延寿閣は江戸から移築された建物であり、第6代丸亀藩藩主の京極高朗の隠居部屋として使われていました。別館はその貴賓室でした。戦災にあっていない珍しい江戸藩邸であり、現在丸亀市では、延寿閣別館を用いた「城泊」を計画中です。

城泊を行うことで、丸亀を盛り上げるとともに、文化財を活用しながら、保存していきたいとの思いが込められています。

～城泊レシピ提案～

城泊の朝食として食マネジメント学部
の学生が考案したレシピの一部です！
是非ご家庭で試してみてください。

1.「骨付き肉風 アスパラつくね」



◎材料(2～3人前)

・鶏ひき肉		230 g
・アスパラガス		2本
・洗い蓮根		100 g
・溶き卵		1/4 個分
・塩、砂糖		各2gずつ
・酒		小さじ 2/大さじ1
・すり下ろし生姜		ひとかけ分(5g程度)
・香川本鷹		少々
・片栗粉		大さじ 1

《作り方》

- ①アスパラガスは根元の皮を軽く剥き、隠し包丁を入れる。
- ②鍋にお湯を沸かし、沸騰したら①を30秒ほど茹で、バットの上などで粗熱をとる。
- ③蓮根は皮を剥いて二等分し、水にさらしておく。水の濁りがなくなったら、半分は摺りおろし軽く絞って水分を抜き、もう片方は5mm角程度の粗みじん切りにする。
- ④ボウルに鶏ひき肉、③の蓮根、酒小さじ2、おろした生姜、砂糖、溶き卵を入れて捏ね、軽く混ぜたら塩、香川本鷹、片栗粉大さじ1/2を加えて粘り気が出て軽くまとまるまで捏ね続ける。
- ⑤冷ましたアスパラガスに片栗粉1/2を振りかけ、④のタネをまとうせてつくねを成形する。
- ⑥フライパンを弱火で加熱してオリーブオイルをひき、温まったらつくねを並べ、ひっくり返すなどして満遍なく火を通していく。表面全体に焼き色がついたら酒大さじ1を加え、フライパンに蓋をして蒸し焼きにする。中まで火が通ったら完成。

◎材料

・ご飯	1合	【A】	
・鶏モモ	150g	・しょうゆ	大さじ2
・錦糸卵		・酒	大さじ1
・紅生姜		・みりん	大さじ1
		・砂糖	小さじ1
		・すりおろし生姜	少々

《作り方》

- ①ご飯を炊く。
- ②一口大に切った鶏モモを炒め、合わせておいた【A】を入れて、汁気が半分になるまで中火で炒める。
- ③炊きたてのご飯と混ぜて10分蒸らす。
- ④1個あたり20～30gでラップなどを使って丸める。
- ⑤錦糸卵を上を広げ、中央に紅生姜を添えて完成。

2.「鶏飯風てまり」



○あすばら屋しげ

アスパラガス

「さぬきのめざめ」



あすばら屋しげの農家、しげさんは一つ一つの人との出会いを大切にしています。私たちが訪れた時から明るく迎えてくださって、とても気さくな方だと感じました。そんなしげさんだからこそ、農家を楽しみながら土や野菜に対してもこだわりを持って真摯に向き合っているのではないかと思います。

しげさんのこだわりは、ずばり「アスパラガス」と「土」です！大きさと甘さが特徴的な「さぬきのめざめ」という品種のアスパラガスで、しげさんは、料理の主役になりうると考えています。また、「土」には堆肥や腐葉土を用いることで良い作物ができると考えられています。そんなこだわりぬかれたしげさんの野菜は、市内のマルシェや一部のスーパーで取り扱われており、私たちもぜひ食べてみたい！と思いました。



讃さん広場・OIKAZE SHOP



丸亀や香川産の農産物や加工品を販売している讃さん広場飯山店や、丸亀市の特産品を販売しているOIKAZE SHOPがあり、レシピ提案でも紹介した香川本鷹などが購入できます。ぜひお立ち寄りください！



讃さん広場飯山店

住所：飯山町西坂本元655-1
電話番号：0877-35-8333

OIKAZE SHOP

住所：通町35番2号
電話番号：0877-58-1088



丸亀市は、丸亀城内にある延寿閣別邸をリノベーションして宿泊できる「城泊」を計画しています。

そこで、私たち立命館大学食マネジメント学部
の学生20名は、城泊を通して丸亀の良さを知り、
丸ごと丸亀市を楽しんでもらうために、どのような
ことができるのか、城泊の食事なども想定しながら、
学生の視点で考えました。

フィールドワークでは、市内の農家や洋菓子・和菓子
のお店、讃岐うどんの店、中津万象園や京極庵、市立
資料館など城に所縁のある施設、本島などを訪ね、
それぞれの取組内容と商品やまちへの思いを知る
ことができました。

本冊子は、観光客や地元の方に、もっと丸亀市の
食文化や歴史の魅力を知っていただき、私たちが
考えた城泊メニューを提案したいと思い、作成した
ものです。

おいでんよ丸亀
・ブログ

<https://ameblo.jp/gsp2020>

・Instagram

https://www.instagram.com/oidenyo_marugame



【協力】

一般財団法人丸亀市観光協会
丸亀市産業観光課

【編集】

食マネジメント学部3回生
・堀里菜子
・庄田玲菜
・佐藤彩香
・久保田夏菜

【発行者】

立命館大学食マネジメント学部
GSP II (担当教員: 高田剛司)

【発行年月】

2022年10月

注: 営業時間や定休日は取材時のものです。